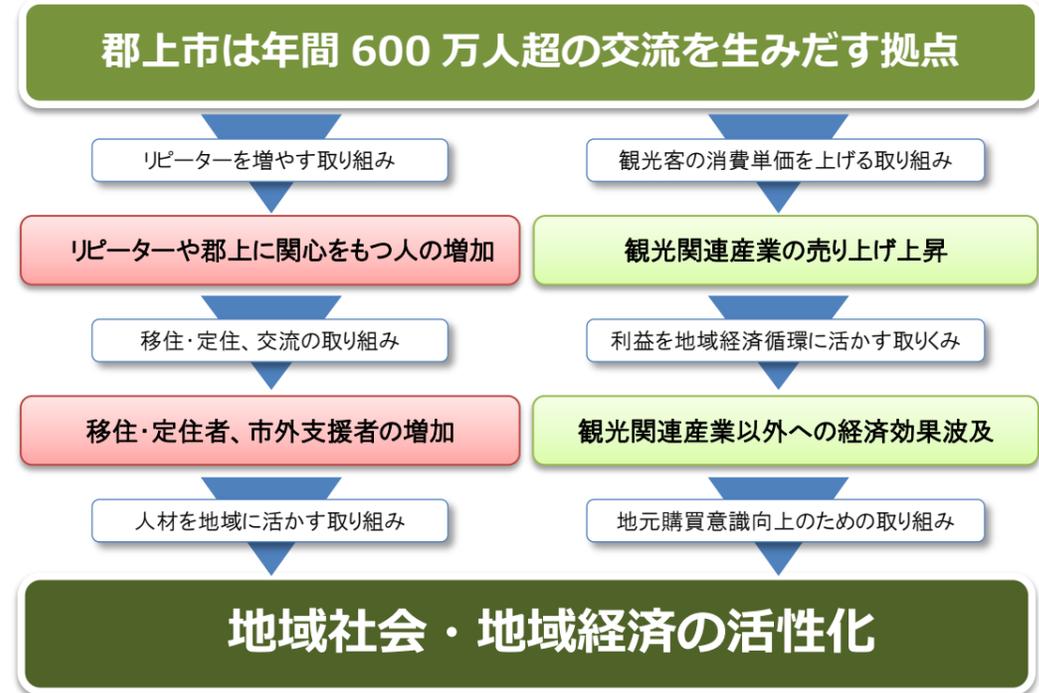
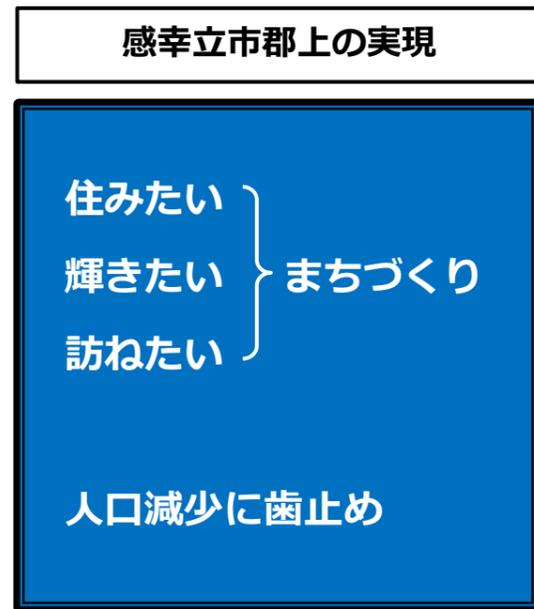
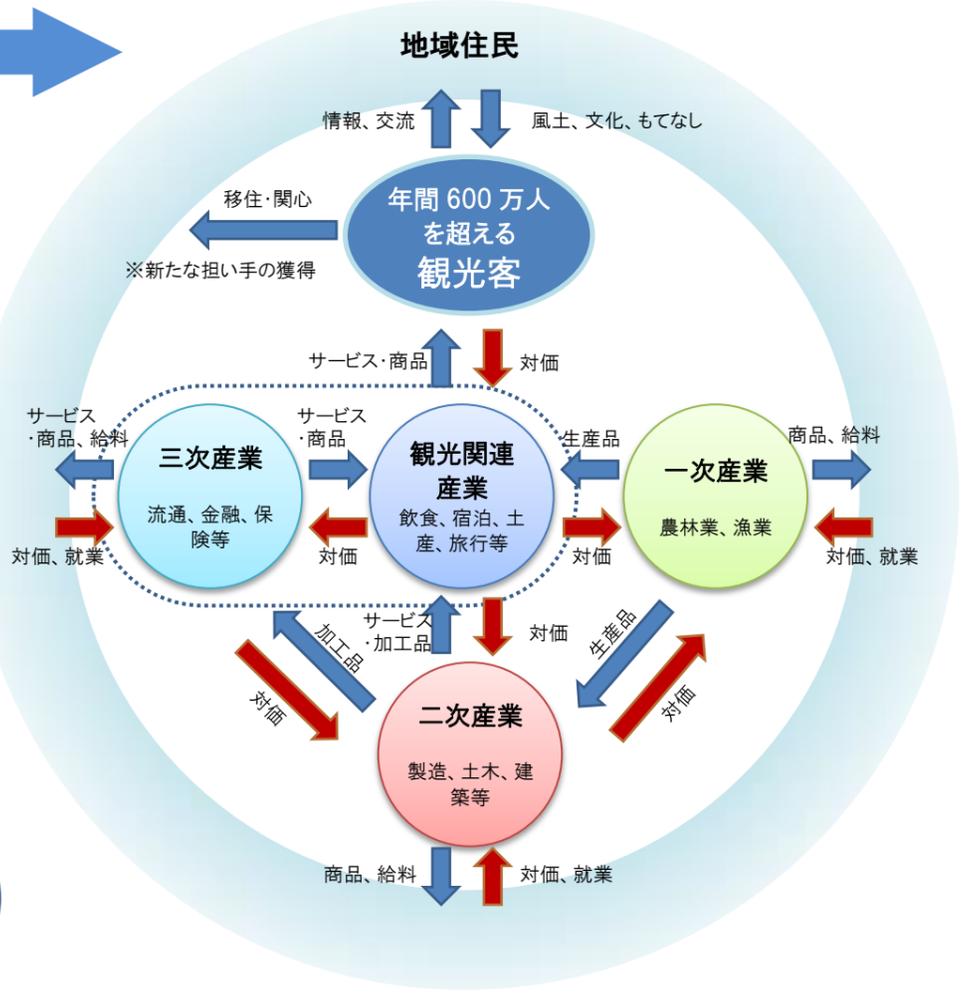
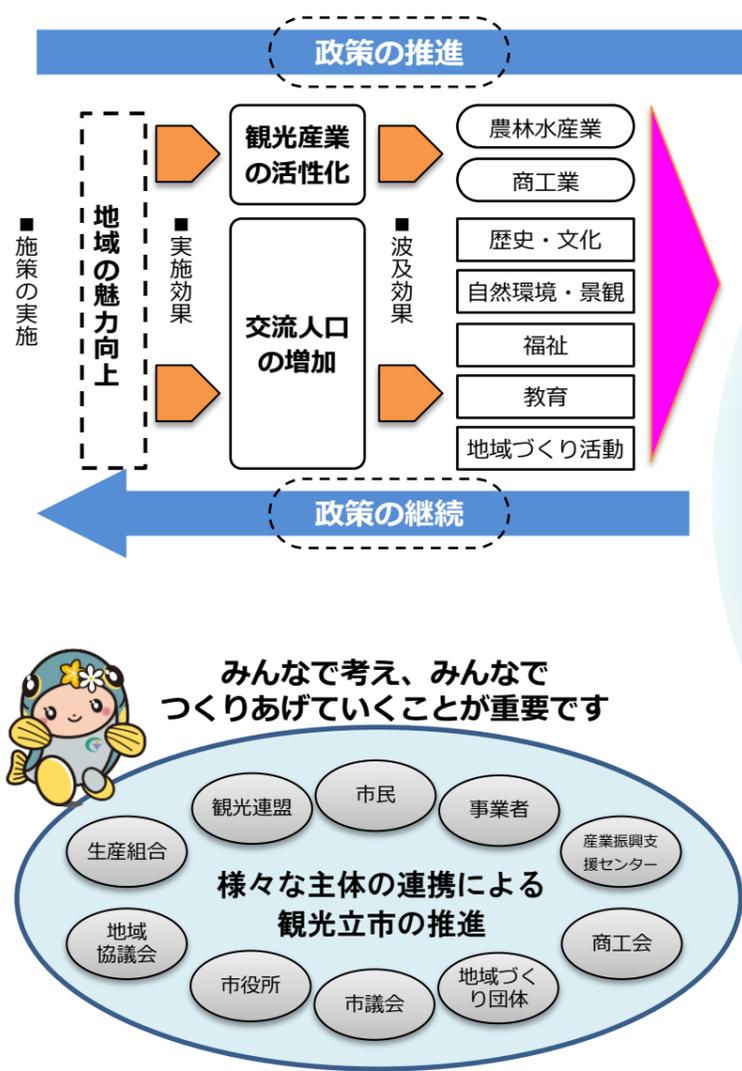
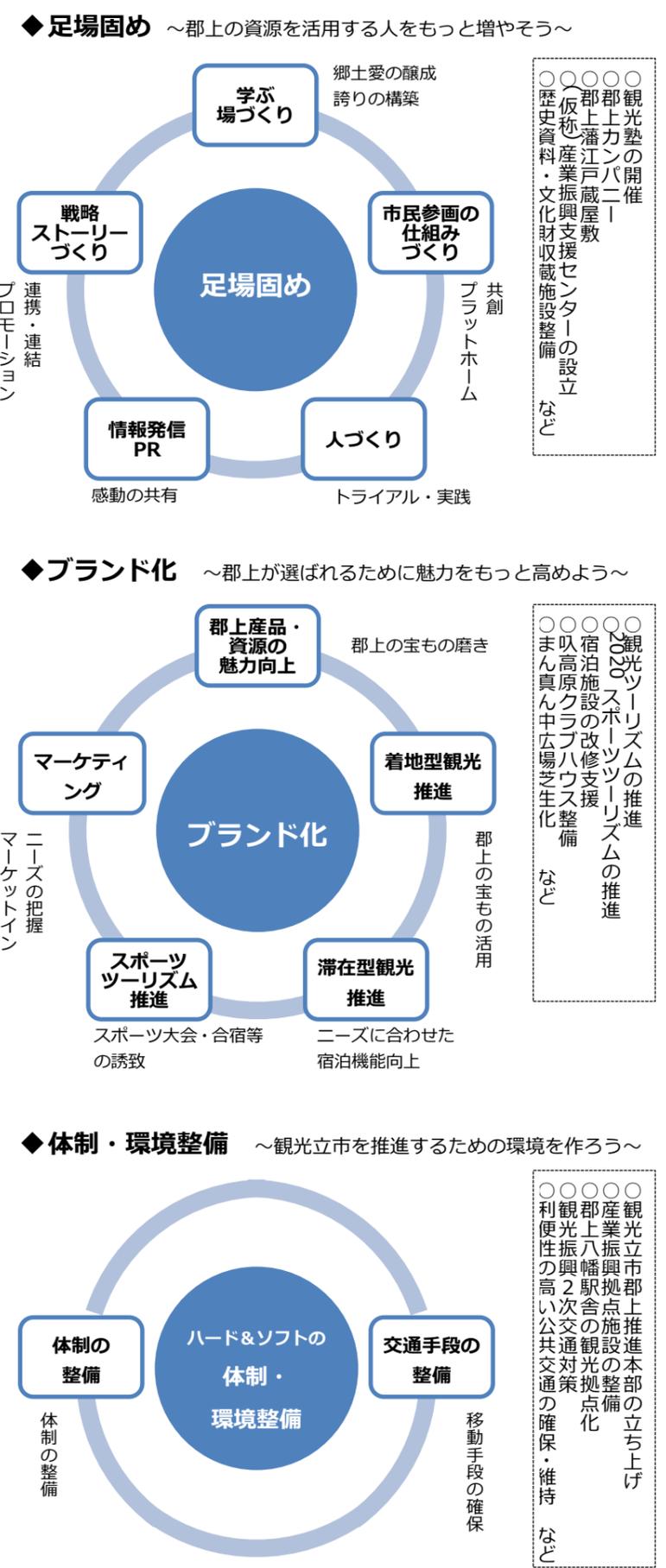


『観光立市郡上』が目指す、地域活性化の流れ

郡上市は交通の便もよく、多くの観光客が訪れ、市内で消費してもらえる環境にある。せつかくの機会を最大限生かし、地域経済や地域社会全体に効果を波及させよう。

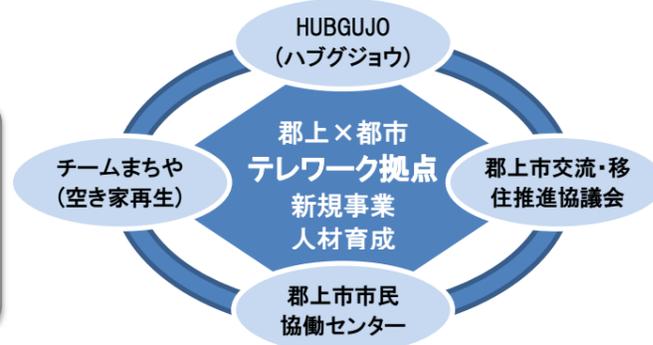
観光立市郡上を推進する3つの柱



『テレワークのまち郡上』

- 情報通信技術を活かしたサテライトオフィスでの勤務(施設利用型勤務)を実現
- 平成 29 年 3 月以降、7つの企業が施設を活用して事業を展開

→新しい働き方を提案し、入居企業の増加を図る。



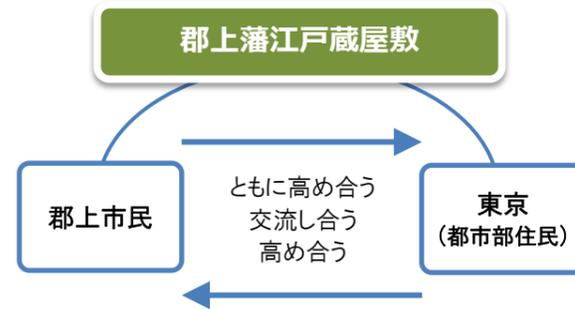
情報通信技術等を活用した地域資源活用型の新規事業を創出

- ・平成 25 年度 『ICT 利活用戦略的ワーキンググループ立ち上げ』、『テレワーク型産業の振興、人材誘致プラン策定』
- ・平成 26 年度 『郡上市 ICT 利活用推進協議会を組織化』、『モデルテレワークハウス実証実験に向けた検討』
- ・平成 27 年度 『モデルテレワークハウスの開設に係る実証実験』
- ・平成 28 年度 『モデルテレワークハウスの管理運営』、『総務省ふるさとテレワーク推進事業の活用による施設整備』
- ・平成 29 年度 『7 企業が施設を利用し事業を開始』

『郡上藩江戸蔵屋敷』

- 郡上の資源や価値をより多くの人に伝えるとともに双方向の交流深化による地域の活性化をめざす。
- 東京都港区青山を拠点に連続講座を開催。

→学びの場を通じて郡上に想いを寄せる郡上ファンを囲い込み、郡上の資源を活用する人を増やす。



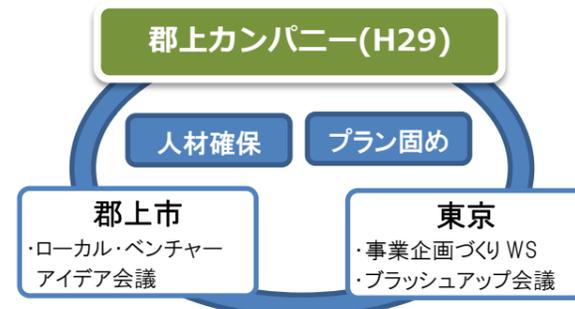
定住・移住、地域経済効果、郡上ファンの増加

- ・第 1 回 平成 29 年 6 月 11・24 日 『踊り下駄を作り、郡上おどりを楽しむ』 参加者 40 名
- ・第 2 回 平成 29 年 7 月 22 日 『神が宿る里「石徹白」の暮らしを学ぶ』 参加者 35 名
- ・第 3 回 平成 29 年 9 月 8 日 『郡上へ行こう！郡上の例祭フィールドワーク』
- ・第 4 回 平成 29 年 11 月中旬 『白山が育む清流長良川の恵みを学ぶ』
- ・第 5 回 平成 30 年 2 月上旬 『郡上の魅力を伝える発表会』

『郡上カンパニー』

- 郡上の地域資源を活かしたローカルベンチャースクール(地域資源をビジネスに変えていく実践型の学校)を開設。
- 平成30年度の開校をめざし、今年中に10のプロジェクトとプロジェクト実践者及びパートナーを決定。

→ 都市から人材を呼び込む魅力の創出、郡上で創り、それを全国へ提案

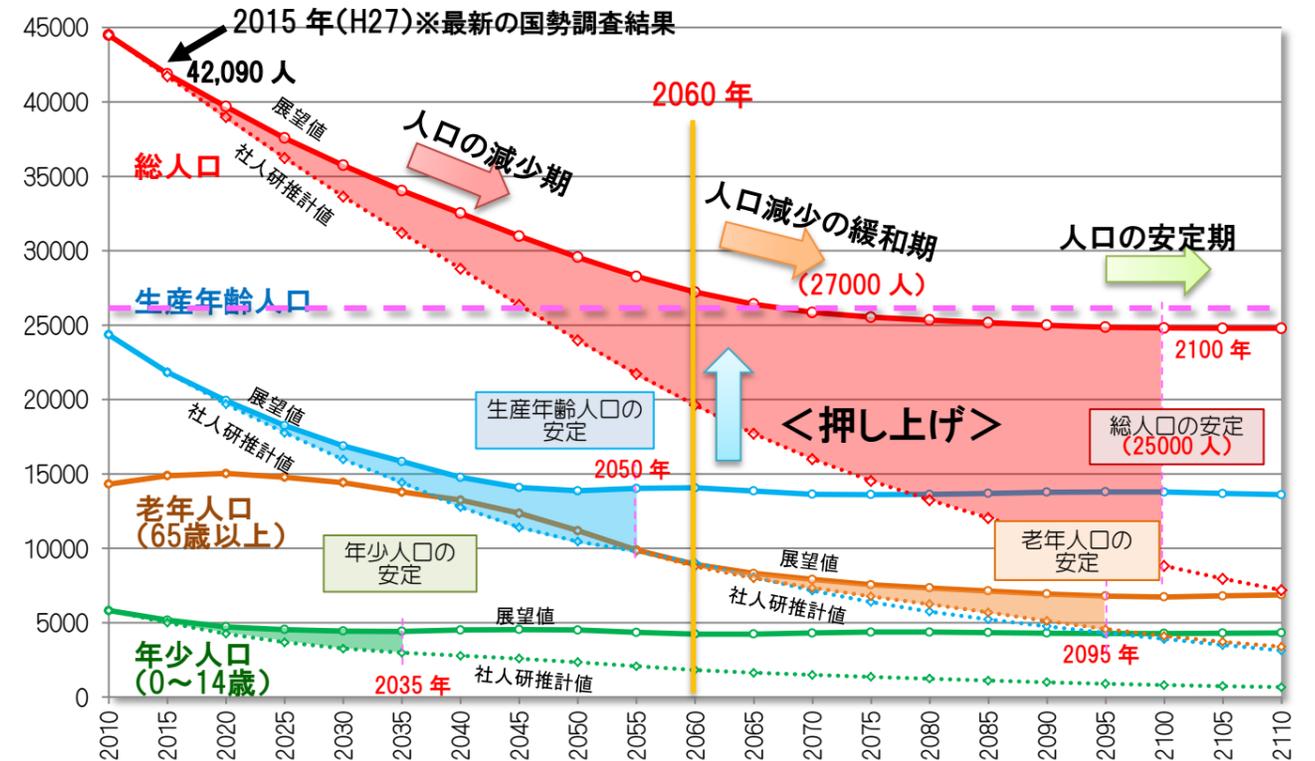


地域資源を活かしたビジネス/社会システムの構築 郡上の価値の持続、地域内経済循環の仕組みづくり

- ・第 1 回 平成 29 年 9 月 16~18 日 『キックオフ』 ※郡上
- ・第 2 回 平成 29 年 9 月 30 日~10 月 1 日 『フィールドリサーチ』 ※郡上
- ・第 3 回 平成 29 年 10 月 28~29 日 『アイデア発想』 ※東京
- ・第 4 回 平成 29 年 11 月 25~26 日 『ブラッシュアップ』 ※東京
- ・第 5 回 平成 29 年 12 月 9 日 『プレゼンテーション準備』 ※東京
- ・発表会 平成 29 年 12 月 16~17 日 『発表会』 ※郡上

平成 29 年度 『観光立市郡上』の推進に向けて

郡上市の人口は年々減少し続けており、平成 27 年国勢調査では 42,090 人となっています。平成 27 年に策定した『郡上市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン』では、約 40 年後の 2060 年の人口展望を、国立社会保障人口問題研究所に準拠した推計では 19,630 人となること、様々な政策を総動員して **27,000 人**とし、人口減少をできる限り抑えることを目指しています。



■郡上の光を内外に観(しめ)す「観光立市」

郡上市では、元気あふれる持続的な地域社会をつくるため、平成 29 年度から政策推進の旗印として「観光立市郡上」を掲げ、分野を横断した取り組みを推進することとしました。郡上市が目指す観光立市は、一般的にイメージする観光関連産業だけではなく、福祉や農林業、教育など様々な分野にわたって「郡上を磨き、郡上の光を内外に観(しめ)す」という考え方のもと、市民の皆さんの総力を結集した取り組みを実践していくというものです。

■内外の人が幸せを感じる地域づくりを目指して

私たちの郡上市には、日々の暮らしの中では「当たり前」と思っている、見かたを変えたり、また市外の人から見ると「宝」と言える貴重な資源がたくさんあります。国の重要無形民俗文化財に指定されている郡上おどりや白鳥おどり、拝殿おどりといった伝統芸能はもちろんのこと、平成 27 年 12 月 15 日に世界農業遺産に認定された「清流長良川の鮎」、そして、清流長良川がもたらす多くの恵みや城下町の古い町並み、山里の暮らし、美味しい農林水産物、郷土料理、伝統工芸品や先進技術の工業製品など数多くの宝ものが市内のいたるところで光り輝いています。こうした宝ものを、市民の皆さん自らの手でさらに磨き上げ、それを内外に向けて観(しめ)すことで地域全体が豊かになっていくと考えています。本市が掲げる観光立市は、郡上市に暮らす人、また郡上市を訪れる人を含め、ともに幸せを感じ、幸せに生きていくための手段とも言えます。

■今年度から観光立市郡上推進本部を設置

多くの市民の皆さんが郷土に誇りと愛着を持ち、持続可能な地域社会を築いていくことは、郡上市全体の願いです。このことを具現化していくため、庁内を横断する推進組織として、今年度から「観光立市郡上推進本部」を立ち上げました。推進本部は、副市長を本部長に据え、部長職の観光立市郡上推進統括 1 名と 22 名の関係課長で構成しており、課題の共有を図りつつ横展開で効果的な事業が導き出せるよう、また、市民を巻き込んだ新たな取り組みへの発展などに向け、闊達な話し合いを進めています。